



雪燈籠まつりメイン会場で



議会報告会

新・アジサイだより

安藤はるみの

日本共産党青森県議会議員

SIDE-A



春の音

さくらの蕾頬染める

(はるみのワクワク川柳)

安藤はるみの活動日誌

- 2月5日 松原小学校訪問
- 6日 ふたば保育園訪問
- 7日 雪燈籠まつり開会式(写真)
- 8日 国賠同盟新春の集い
- 9日 市民連合津軽総会挨拶
- 10日 全員協議会
- 11日 冤罪学習会
- 13日 東北農政局へ要請行動(写真)
宮城県議団と意見交換
- 14日 「核のゴミいらない」要請行動
- 19日 平川市長・黒石市長表敬訪問(写真)
- 20日 常任委員会(写真B面)
- 21日 議会開会
- 22日 県議会報告会(写真)
- 23日 市民協働まつり(写真B面)
- 27日 りんご畜産豪雪対策申し入れ
- 3月1日 3・11さようなら原発・核燃弘前集会
- 2日 日本共産党女性後援会「春を呼ぶつどい」
- 8日 国際女性デー青森中央集会
- 9日 3・11さようなら原発・核燃青森集会
- 11日 質疑



東北農政局で政府に対する豪雪対策申し入れ



県知事あての農林水産業への豪雪対策要請

はつとタイム

(孫の成長)



忙しい暮らしの中で同居する4歳の双子ちゃんの言葉には、はつとしたり癒されたりしています。吹き抜けの我が家は音が筒抜けで、2階で過ごす私が咳き込んだりしていると下から「ばあばだいじようぶ」と声をかけてくれます。「だいじようぶだよ」と返事をすると安心します。

最近「どうして？」の問いが多く、説明に苦慮する場面も。「どうしてばあばは、絵本を読んだりする時ここをこういうふうにするの」と、額のしわ寄せについて聞いてきました。眼鏡をかけていないとつい額にしわを寄せてしまうのです。「おばあちゃんだからだよ」と返します。また、この間は「どうして大人は鼻の穴に毛が生えてるの」「どうしてばあばは1回だけじゃなくて何回もお仕事に行くの」「日曜日などに私が、何度か出かけるのを見て不思議に思うのでしょうね。また朝街宣から帰ると「どうしてこんなに早く帰って来たの」

時々ばあばと一緒に風呂に入りたいというので希望に応える時があります。お風呂の中の二人の様子を見てみると双子ならではの関係性を垣間見ます。頭を洗っている時小さなタオルで目を拭きたい時に、あうんの呼吸でタオルを渡してあげたりします。そして「ありがとう」としっかりお礼も言ってます。先日は二人してばあばの体を「ごしごし洗ってくれました。小さな4つの手からたくさんの愛を感じます。」「ああ気持ちいいな!」とお礼を。

先日は二人から同時に何々してとせがまれ「一度にできないよ」というと「それじゃあばあばが二人いるといいのね」本当にその通り。この間4歳になったばかりですが、二人の成長の早さそして双子ならではの遊びや関わり合いを見ていると、双子っていいなと思う日々です。

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
9:00~14:00(土・日・祝日左記時間以外は留守電対応)

自宅0172-35-2270

Eメール ando-harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス [http:// ando-harumi.com/](http://ando-harumi.com/)

X(旧)Twitter 安藤はるみ 日本共産党 で検索 フォロワー782人

2月の相談件数8件
ホームページアクセス数 2月139,847件

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの
新・アジサイだより

SIDE-B

アジサイ便りを読んで
のご感想や、委員会など
議会で取上げて欲しい
ことなどありましたら
お寄せください♪



常任委員会

2月20日 建設危機管理委員会
特定利用空港・港湾について質す

国から特定利用空港・港湾の要請があり県土整備部長が報告しました。「民生利用を主とし、自衛隊などの優先利用のためのものではない。管理者の権限は変わらない。自衛隊などが常駐することで災害対応時に迅速に対応できることなどを確認した」と説明。

安藤は「防衛省が自衛隊の運用上の課題を示した資料に、空港港湾などの優先利用の確保として空港や港湾の施設を自衛隊及び米軍が優先的に利用できるように調整を図ることが必要と明記されている事などから、特定利用空港・港湾の使用は認めるべきではない」と意見を述べました。

弘前恵林寺裏崖対策の進捗状況を質す
河川砂防課長が「令和5年8月に要



高樋黒石市長と懇談



女性県議で国際女性デーに向け
黄色のシンボルカラーを身につけて



3・11 さようなら原発核燃青森集会

はるみ事務所の風

娘の中学校の卒業式がありました。
体育館に卒業生と1、2年生と保護者がみっちり。
ちょっと前まで、コロナの厳しい規制だらけだったので、やっといつもの感じが戻ってありました。
女子はたいして変わらないけれども、男子の制服の着こなしがね。
入学式のときは肩幅の合わないガフガフの制服だったのに、卒業式ではつんつるてんになっててね。成長～♪
女子は女子でメイクするようになったり、「足痩せたーい」と言ったり、いろんなことが気になってね。
大変、ほんとに(=.=)
私のPTAの広報の仕事も、卒業式の2日前の「卒業生を送る会」でおしまいでした。お世話になった先生達が、生徒のジャージ着て歌ったり踊ったり。とっても盛り上がりおりました。
3年間でカメラの腕は上がらなかったけれども、子ども達や先生達のいい顔いっぱい見られたので大満足！
うちには小さいのがまだ1人おりますので、また広報委員会やる気です♪

葛原 未来

望を受け、急傾斜地対策事業の最高基準である崖の高さ5m以上、公ばい30度以上、保全人家5戸以上を満たすことから、本年度は、必要な測量、地質調査、対策工法の検討をし、来年度からは、測量結果をもとに、弘前市と協議を進め、急傾斜地崩壊危険区域に指定する予定。その後必要な用地協力の手続きを進め、対策工事に着手する」としました。

下土手町の歩道融雪装置効かなくなったの声を受け質問

質疑の中で判明したことは、当該地区は弘前市や弘前下土手町商店振興組合の主導により設置された協議会において1994年に再整備の計画の方針や役割分担が定められ、県は従来設置されていたアーケードの代替え機能を確保するために1995年から2年間で約460坪の歩道融雪施設を含む舗装整備を行い、その際に歩道融雪施設についての維持管理費及

び更新費用については弘前市土手町商店振興組合が負担する内容の覚書を交わしているとのことでした。
道路管理者の県としての立場から状況把握と対応策の協議を進めるよう提言。それに対し道路課長は「パトロールなどで確認できれば、原因究明をおこないたい」としました。

本県の下水道管老朽化の実態と対策について質す
埼玉県八潮市の事故を受けての質問で都市計画課長が答えました。
★老朽化がどの程度進んでいるのか
「2023年度で総延長5300kmのうち標準対応年数の50年を超える老朽管の割合はやく5.4%となっており、3年前に比較して1.4%増加している」

★県が管理する下水道管のうち腐食の恐れが大きい箇所の点検状況
「県が管理する岩木川流域下水道、馬淵川流域下水道、十和田湖特定環境保全公共下水道の総延長は160kmで、このうち腐食の恐れが大きい箇所は2015年の下水法改正により5年に1回の点検が決められたことから2016年度から2020年度

★市町村が策定する避難行動要支援者に係る個別避難計画の策定状況を質す
防災危機管理課長は「2024年4月現在の未策定市町村数が12となっている」とし、その内訳は「黒石市、平川市、平内町、今別町、蓬田村、鯉ヶ沢町、西目屋村、大鰐町、中泊町、七戸町、風

間浦村、田子町」としました。その後取り組みも前進し「2024年度内に策定できないのが、黒石市、今別町、田子町」ということが分かり、県の指導を求めました。

他に●六ヶ所再処理事業所前処理建屋で発生した排風機のトラブル●リサイクル燃料貯蔵株式会社が原子力規制委員会に提出した貯蔵計画の内容について質しました。